成田発、(片道最安) 3,990 円で空飛ぶ日帰り旅行

3 年　ラムネちゃん

という訳でこの記事は、「LCC」いわゆる格安航空を使って日帰り旅行をしたおはなしです。まるで飛行機のみで旅に出たようなタイトルではありますが、ご安心ください。当初は往復とも飛行機を使おうと考えていたのですが、時間の都合で帰り道は新幹線にしました。さすがに鉄道研究部の部誌を飛行機だけで完結させるわけにはなりません。危ない危ない。あやうく熱心な鉄路ファンの方から「鉄路に鉄道が登場しないとは何事だ！」と激励のお言葉（＝お叱りのお言葉）を頂いてしまうところでした。

早速ネタばらしをしてしまいますが、タイトルに「(片道最安)」とあるのは、今回は日程の都合により、運賃が最安にはならない日に旅に出たからです[1]。実際には 5450 円を支払っています。ここで釈明しましたから、タイトル詐欺ではありませんよ。

Chapter 0 ：準備編

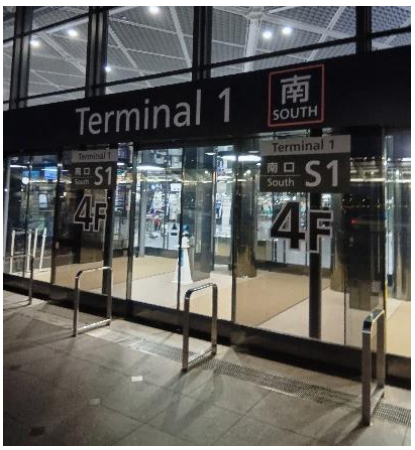
まずは飛行機の予約をしましょう。選んだ航空会社は Peach Aviation。ANA 系列の格安航空会社です。今回の旅先は関西方面とします。なんで関西方面か、って？…それは 79 回一高祭に来ていただければ答えが分かるかもしれません。私は GATE 委員長です。



LCC の特徴として、運賃自体は格安なものの、オプションを付けると高くなりがち、という点が挙げられます。今回はあえて、LCC の「激安」を体感するために、オプションは一切つけていません。座席指定料金すらもケチったので、どの座席が割り当てられるかはランダム (つまり運ゲー) です。この選択がどのように影響するでしょうか…。

帰り道では新幹線を利用するので、関西空港から土浦まで (値段が変わらなかったので一駅先の神立まで)、関西を周遊して、新幹線を利用して帰れるような切符を買いました。こうすることで、飛行機を降りた後も少しでも安く旅を進めようという訳です[2]。新幹線の切符は、前回の名古屋日帰りの二の舞に[3]ならないよう、指定席を選択しました。前回の惨事について、詳しくは「鉄路 12.5 号」をご参照ください。

Chapter 1 ：旅立ち



【1 乗車目：京成バス千葉イースト高速バス NATT'S 土浦駅東口 5:00⇒成田空港第一ターミナル 6:20】

土浦から成田空港までは、電車を使うのが最も経済的な選択肢なのですが、始発電車で成田空港まで行くと飛行機のチェックイン期限に間に合わない可能性があるので、今回は始発よりも 20 分早く土浦駅を出る高速バスを選択。平日の早朝ではありますが、乗客は窓側が埋まるほど多かったです。車内で寝ること 1 時間、成

---

[1] LCC の運賃は便によって変動します。平日の早朝ほど安くなりやすいです。

[2] JR 線の乗車券は、一般に、乗車キロが長いほど 1 k m あたりの運賃が安くなるので、目的地がはっきりしているならば、複雑な経路の乗車券を買ったほうが安上がりなのです。

[3] 前回の名古屋日帰り旅行で何があったのかを軽く解説しておきます。25 年の 9 月に、帰路の新幹線を全く考えずに名古屋へ旅に出たところ、気づいたときにはグリーン車含め指定席がすべて埋まっており、自由席（しかも指定席車両のデッキに立ち席！）で帰る羽目になった、という苦い思い出があります。

田空港に到着。10 月の末に修学旅行で使って以来です。

さて、第一ターミナルの国内線ターミナルへ向かいましょう。成田空港から国内線に乗るような物好きは少ないらしく、空港内に国内線の案内は少ないので注意。



夜闇につつまれた空港の中で少々遭難しながらも、無事にチェックインを済ませて受け取った搭乗券がこちら。割り当てられた席は 19 番 B 席です。なんですかこれ。座席指定料金（800 円）をケチった結果が、まさかの B 席です。B はぼっちの B。ぼっち旅で B 席というのは、ぼっちであることへの罰にこの上ありません。あるいは 800 円をケチったことへの罰でしょうか。前日に見た段階ではかなり空席が目立っていたので、せめて通路側が当たるかなぁと思っていたのですが…。世の中はそこまで甘くありません。中ほどの 19 列目なだけ、まだマシと考えましょう。

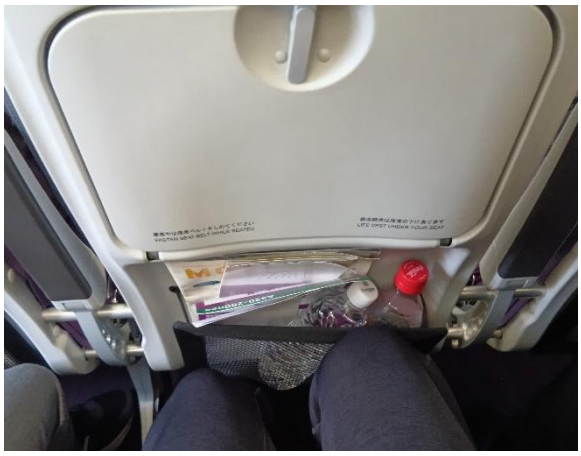
保安検査をくぐり、制限エリア内へ。待合室は LCC で各地へ飛ぶ客でにぎわっており（この時間の第一ターミナル国内線は Peach 便しかない）、売店には長蛇の列が。いまのうちに、保安検査でなぜか裏に持っていかれ、係員さんに探られたリュックサックを整理し直しておきましょう。別に怪しい物はもっていないのですが…。案内がかかり、いよいよ搭乗です。19 列目は機内の後ろ半分に当たるため、優先搭乗（？）ができました。搭乗口から飛行機まではバスで移動。LCC ではお決まりのバス搭乗です。



Chapter 2 ：Fly to Kansai

【2 搭乗目：Peach Aviation MM306 便 成田国際空港 7:45⇒関西国際空港 9:15】

機内に入り、指定された座席へ向かいましょう。着席したところの様子がこちら。



なるほど。端的に言うと、これは狭いですね。LCC の醍醐味ともいえる、狭い座席の登場です。今回のように、関西まで 1 時間のフライトなら耐えられますが、それ以上となると厳しいものがあるかもしれません。

左手に座られた方は、一人旅と思われる中年男性。右手の方は、こちらも一人旅と思われる若い女性。こちらの方々は窓側と通路側をゲットしているのに、私はどうして B 席なのでしょうか。B 席というのは何もすることがない（というかできない）ので、おとなしく寝ておきましょう。朝も早かったですからね。



離陸して 1 時間、淡路島が見えてくると関西国際空港に着陸です。関空は第二ターミナルに到着したので、関西空港駅がある第一ターミナルへはシャトルバスで移動です。ちなみに T2⇒T1 の移動、かなりの時間が掛かりました。利用する方はご注意を。

さて、ここで飛行機を降りてしまったので、本記事のメインコンテンツが終わってしまいました。LCC は私たちを安く、速く目的地に運んでくれる素晴らしい交通手段です。めでたしめでたし。

…この程度で記事を提出したら、それこそ編集部や鉄研幹部から激励のお声がけ（＝叱責）を頂いてしまいますので、家に帰るまでしっかり書きましょうか。家に帰るまでが日帰り旅行です。

Chapter 3 ：奈良＆京都観光



早々に関西空港を後にし、天王寺を経由して奈良へ向かいます。
【3 乗車目：JR 関西空港線関空快速　関西空港??:??⇒天王寺??:??】[4]
【4 乗車目：JR 大和路線大和路快速　天王寺 10:45⇒奈良 11:18】
本日の第一チェックポイント、奈良に到着です。奈良に来るのは中 3 の修学旅行以来なのでかなり新鮮な気持ちです。JR 奈良駅から路線バスで奈良公園に向かいます[5]。奈良で撮った写真をサクッとご紹介。









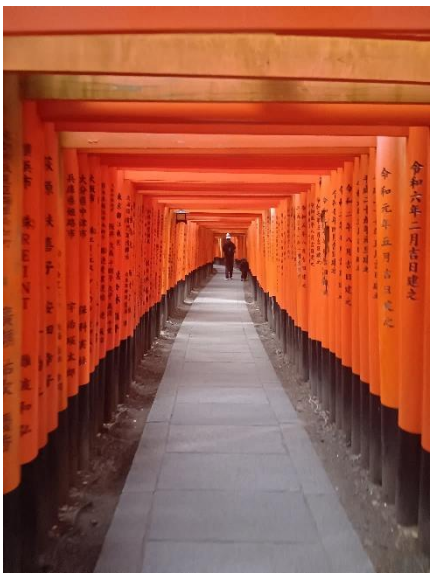
[左上]奈良公園のかわいい鹿ちゃん。鹿せんべい 200 円で仲良くなれる。
[右上]春日大社参道。水曜日なので人は少なめ。
[左下]中学の修学旅行で泊まった旅館の近く。奈良公園から徒歩数分。かなり良いところに泊まったんですね。
[右下]春日大社。中学の修学旅行時は夜間の参拝だったので、昼間に来るのは初めて。

【5 乗車目：JR 大和路線大和路快速　奈良 14:20⇒木津 14:27】
第二チェックポイントの京都へ向かいます。途中の木津で、乗り換えのついでにスーパーマーケットに寄り道。

---

[4] 時刻を忘れました。ごめんなさい。
[5] 奈良市内を走る奈良交通の路線バスが 1 日乗り放題になるチケットが、600 円でカウンターにて発売されています。非常に便利なのでおススメです。

東日本では販売終了となってしまったスナック菓子「カール」を購入。新幹線で茨城まで密輸[6]します。
【6乗車目：JR奈良線みやこ路快速　木津 14:45⇒六地蔵 15:10】
【7乗車目：JR奈良線　六地蔵 15:14⇒稲荷 15:23】



京都の手前でまたまた寄り道。途中の稲荷駅で降りました。ここは名前の通り、伏見稲荷大社の最寄り駅だそうです。修学旅行のド定番である伏見稲荷大社ですが、当時は時間の都合で（？）行けなかったので、今回こそ訪問しましょう。自由気ままに旅程を変更できるのが、一人旅の魅力です。

こちらがかの有名な千本鳥居。圧巻の光景です。大きな鳥居が並ぶ道も、小さな鳥居が並ぶ道もあり、どこまで歩いて行っても楽しめます。あまり奥深くまで行くと帰ってこれなくなってしまうので、奥社までで引き返しました。新幹線の時間も近いのでね。
【8乗車目：JR奈良線　稲荷 16:08⇒京都 16:14】

今日の第二チェックポイント、京都に到着です。京都駅ではお土産を買い、早々に新幹線ホームへ向かいます。この時間にもなると、出張帰りのサラリーマンの利用が目立ちますね。

Chapter 4 ：きしめん Time Attack



【9乗車目：東海道新幹線のぞみ 430 号　京都 17:06⇒名古屋 17:39】

京都から新幹線に乗り、わずか 33 分で名古屋に到着。いったんホームに降り立ちます。ちょうど夕方になり、小腹もすいてきたのでここで軽食としましょう。名古屋といえばそう、きしめんですね。名古屋できしめんを食べるために、指定席を一度名古屋で区切ってもらいました。面倒な発券をしてくれた土浦駅の駅員さん、ありがとうございます。指定した後続の新幹線まで、きしめんを食べる時間は 18 分。これなら余裕でしょう。

お邪魔したのは名古屋駅新幹線ホームにあります、「きしめん住よし」さん。店舗前の行列がこちら（右上）。…舐めていましたね。この行列に愚直に並んでいたら、本当に予定の新幹線に間に合うのでしょうか？？並び始めた段階で食券を買ってしまったため、後戻りはできません。着席したのは新幹線が出発する 10 分前。着席から提供までは 1 分です。速い。速すぎる。頂くのはこちら[7]。きしめん特盛（620 円）。調子に乗って特盛にしてしまいました。麺量は並盛の 2 倍です。ここからが勝負。刻一刻と迫る新幹線の時刻に間に合わせるべく、リズムよく麺をすすっていきます。平打ち麺には以外にもスープが良く絡んでおり、出汁の風味の違いから、ここが関東ではないことを思い出させてくれます。トッピングの鰹節が現在進行形で出汁を出しており、いいアクセントです。7 分ほどで完食。ホームに戻ると、ちょうど新幹線が入線してきました。セーフです。ピンチはチャンス。いくら新幹線の時間が迫っていようと、ご当地グルメを味わい尽くすことができました。



---

[6] カールを東日本に持ち帰ることを密輸と表現するそうです。初出は不明。

[7] 写真を撮っている余裕なんてありませんでした。ごめんなさい。ではこのきしめんの画像は何だ、って話ですが、これは 9 月に名古屋に行った時に食べた時の画像です。画像は並盛りなので、今回食べたきしめんはこの倍の量がありました。

部誌はなるべく 4 ページまでに収めてくれ、との依頼があったのですが、ページ数のほうが大変厳しくなってしまったので、5 ページ目に突入させていただきます。申し訳ございません。大人の事情というやつです。



【10 乗車目:東海道新幹線のぞみ 38 号　名古屋 17:57⇒東京 19:33】
あとは帰宅するだけです。ゆっくりと帰りましょう。ここでは PC 作業をするために「S work 車両」を予約しました。
【11 乗車目:JR 常磐線特急ひたち 27 号　東京 19:53⇒土浦 20:39】
東京駅からはひたち号で帰宅。上野⇒土浦はノンストップです。朝 5 時に出発して以来、15 時間ぶりに土浦に帰着しました。これにて空飛ぶ日帰り旅行、完走です。

Chapter 5 ：まとめ

完走した感想ですが、飛行機を使うと日帰り旅行の幅がグンと広がると実感しました。飛行機は超高速で、遠くまで私たちを連れて行ってくれる素晴らしい乗り物です。
それはそれとして、普段から飛行機に乗らない私にとって[8]、飛行機のシステムはちょっと煩わしくて苦手かもしれません。時間厳守のチェックイン、バッグを漁る保安検査、搭乗までの退屈な待ち時間…。新幹線にはない「タイムロス」が多いように感じます。その分、空を飛ぶという体験は楽しいですが、この煩わしさは性には合わないかもしれません。まあ、日本から海を渡るというのは飛行機か船でしかできない（ちなみに船は酔うので NG）ので、今後もかなりの頻度で飛行機を使うとは思います。

以下、今回の旅のまとめです。ここまで読んでいただきありがとうございました。
旅行時間：15 時間 39 分
総移動距離：1527.4km(土浦一高から直線距離で沖縄本島くらい)
出費：

JR 切符代(乗車券・新幹線特急券)	￥14,970
航空券代	￥5,450
バス代（高速バス＆奈良市街）	￥3,000
飲食代	￥1,500

合計￥24,920

食べたものと飲んだもの一覧：成田で買ったコーラ、ハンバーグランチ、きしめん特盛、水

次回予告

次回があるかは分かりませんが、次回があれば、受験後に旅に出たおはなしでも書こうと思います。次回があるかどうかは、鉄路 14 号を編集する 81 回生の部員の皆さんに懸かっています。乞うご期待！
というわけで、これにて 3 回に渡ってお届けした「日帰り旅行シリーズ」はここで完結とします。鉄路 12 号で掲載した「青森日帰り旅行」を端に発し、鉄路 12.5 号（電子版限定）の「名古屋日帰り旅行」、そして今回の「空飛ぶ関西日帰り旅行」と、いつの間にかシリーズ化してしまいました。これらがたった 1 年間の出来事というのが恐ろしいです。25 年 2 月の青森、25 年 9 月の名古屋、26 年 1 月の関西、そして記事には登場していませんが、26 年 2 月の青森・秋田日帰り旅行。ここ 1 年で 4 回も大規模な日帰り旅行に出かけていました。とっても楽しい 1 年間でした。バックナンバーが気になる人は、ぜひ過去の鉄路をご一読ください。

[8] 新幹線：飛行機＝9.5：0.5　くらいの利用頻度です。